

BCG（結核予防）ワクチン予防接種を受ける方へ

- BCGワクチンは“生ワクチン”といって、牛型結核菌を弱毒化して作ったワクチンです。
- 接種部位（左上腕部）にワクチン液をたらし、管針を押し当てて接種します（いわゆるハンコ注射）。
- 接種後は、接種部位のワクチン液が自然に乾くまで、院内で待機していただきます。
- 待機している間、手や衣服、髪の毛、マスク等にワクチン液がつかないように、注意してください。
(もしもワクチン液がついてしまった場合は、スタッフまでお声がけください)

接種の流れ

①

事前準備

- ✓ 髪の毛の長いお母さんは髪をまとめましょう。
※髪にワクチン液がついてしまう恐れがあります！
- ✓ 接種は左上腕部に行いますので、お子さんの左肩がすっぽり出るように服を脱がせましょう。スタイも外してください。



良い例



○ 肩部分をすっぽりと出す



悪い例



× 袖をまくっただけ
× 脱いだ部分やシャツ等が肩にかかる

②

問診 ・ 接種

- ✓ 医師の問診（予診）を受けます。
当日の体調など気になることがあれば、このときに確認しましょう。
- ✓ 接種は左上腕部に行いますので、左腕が看護師側になるように、お子さんを右向きで抱ってください。

③

乾燥 (待機)

- ✓ 接種部位のワクチン液が完全に乾くまで（15～20分程度）院内の直射日光の当たらない場所で待機をお願いします。
- ✓ 自然乾燥させる必要がありますので、息を吹きかけたり、紙や手で仰ぐことはやめてください。
- ✓ 接種した針穴から出血することがありますが、接種部位を拭くことはできませんので、そのまま自然乾燥してください。

BCGに含まれる結核菌は、アルコールや紫外線で死滅してしまいます。

ワクチンの効果を確実に得るために、直射日光を避けて乾燥しましょう。

BCG（結核予防）ワクチン予防接種を受けた方へ

接種後の注意事項

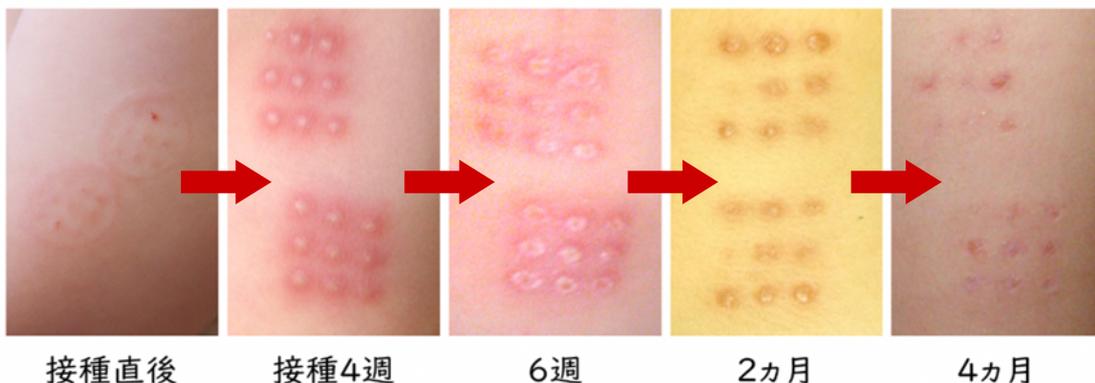
- 接種当日から入浴は可能ですが、接種部位をこするなど、刺激しないよう注意しましょう。
- 接種時に管針を強く押し付けるため、数日間赤みが残ることがありますが、腫れや膿が見られなければ、特に心配はいりません。
- BCGの予防接種を受けたあとに、注射の生ワクチン（水痘・MR・おたふく）の予防接種を受ける場合は、27日以上の間隔をあける必要があります。

接種後の正常な反応について

- **接種の1か月後くらいから**、接種部位（針あと）に赤いポツポツができ、一部に白い膿をもって来たりしますが、これは**正常な反応**です。
- 個人差はありますが、3か月頃までにはかさぶたもほとんどとれます。

接種後の正常な反応

※写真は一例です。
反応には個人差があります。

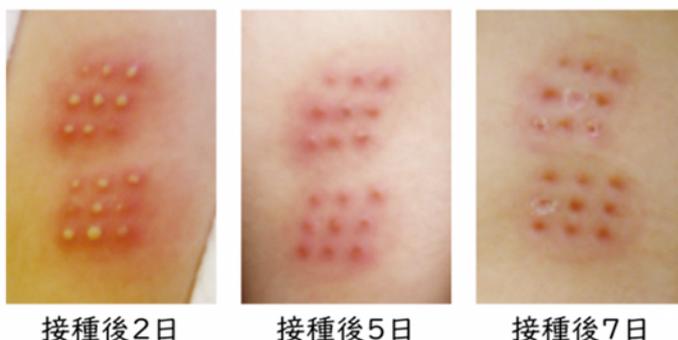


接種後まれに起きる反応（コッホ現象）について

- すでに結核に感染しているお子さんにBCGを接種すると、通常よりも早い時期（接種後数日以内）に、接種したところに強い反応がでます。これを「コッホ現象」と呼びます。

コッホ現象

※写真は一例です。
反応には個人差があります。



- コッホ現象自体が有害というわけではないので、通常治療は必要ありません。
- コッホ現象の疑いが強い場合は、結核感染の有無を調べる検査（ツベルクリン反応検査）を行います。

BCG接種直後に反応が出た場合であっても、**実際にはコッホ現象ではなく「コッホ現象類似反応」**の**場合が多い**です。（類似反応の場合は、その後正常な反応が現れれば特に問題ありません。）

【コッホ現象類似反応の場合の経過】

- ① 接種直後に反応が出る
- ➡ ② 1週間程度で反応が収まる
- ➡ ③ 約2週間後にまた反応が出る（以降、正常な反応と同じ経過をたどる）

- 接種直後にコッホ現象を疑う反応が見られた場合は、接種を受けた医療機関にご相談ください。
- まずは1週間程度経過観察した上で、その後の検査が必要かどうか判断します。